



深田貴美子 《いっぽいっぽ通信》



こんにちは!深田貴美子です。みなさまの温かいお力をお寄せいただき、本腰を入れて仕事ができる「二期目」に突入いたしました。これからも初心を忘れることなく、おひとりおひとりの声を丁寧に市政につなげてまいります。今期は、深田独自の使命と活動を広げると共に、3名の仲間と、市議会第2会派「むさしの未来」会派を結成。副代表・幹事長を務め、「代表者会議」「議会運営委員会」委員として、活動を開始いたしました。所属の委員会は「建設委員会副委員長」、併せて「武蔵野市開発公社評議委員」「11市競輪及び6市競艇事業組合議会」も担当させていただきます。これからも、ご指導・ご鞭撻よろしくお願いを申し上げます。

Xデーに備えよ! 首長の危機管理経営を問う!!

6月一般質問から

3月11日の今震災においては、未曾有、想定外という言葉で、責任を回避する論調がありますが、断じて許されてはならないと思います。災害の時に、自治体の真価が問われます。「最後の拠り所としての自治体の責務とは何か」を再考し、本市の今後の防災対策にこの経験を活かしてまいります。

ライフラインを死守せよ!

やかんを持って並ぶのかっ!!

2.9%

 耐震配水本管整備率

武蔵野市が、直下型地震に見舞われた場合、市内7~8カ所で、本管が破裂すると予測されています。第1、第2浄水場は震度5強に耐えられません。市独自で上水道再整備をした場合、約400億円かかるといわれています。整備を一元化しても、「おいしい地下水」は飲み続けることができます。

結論

多摩23市が実施したように、一日も早く東京都と整備の一元化を図るべきです。「当然のことながら、推進する」と市長答弁がありました。

垂れ流しを改善せよ!

<(_ _)> 杉並区さん、ごめんなさい。<(_ _)>

成蹊

 大学と協議
成蹊通り行止まりと下水

ゲリラ豪雨による北町の浸水も、うんちや生活雑排水を善福寺川、野川、神田川に垂れ流してしまうのも、みんな「雨」のしわざです。東町の11,200tの合流改善施設と北町の6,000t(予定)の雨水貯留施設を建設しても、まだまだ杉並区に迷惑をかけてしまいます。武蔵野の品格の問題です。

結論

昭和44年の計画通り、成蹊通りもしくはケヤキ並木の地下に、シールド工法でバイパス貯留管を敷設すること。「今年度効果測定をし、大学との協議に入りたい」と答弁がありました。

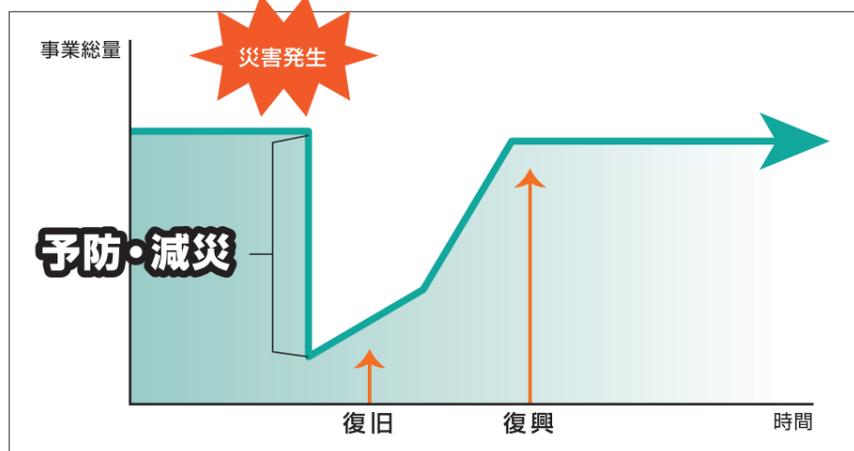
想定外を想定せよ!

BCP(事業継続計画)の策定を急げ!

最悪の事態を想定して、具体的な予防・復旧体制を組み立て、市民の命と財産を守るのは、行政の責任です。3・11では、直接被災しませんでした、それでも数か月業務は混乱しました。

結論

BCP(事業継続計画)を至急策定すること。



ご意見、ご要望を聞かせてください!

メール✉ ippo-ippo@fukakimi.net
または電話 090-8025-4457まで

日頃の備えとお付き合い、非常時の構えと助け合い

防災・減災・放射能・食の安全・被災地支援・災害時弱者・帰宅困難・一人暮らし・節電へ
課題は山積ですが、まずは『初動態勢の基本的な見直しと是正』から取り組みます。

いったい何人の職員がかけつけられるのか？

- 1 初動態勢(51.7%)の実現
市内在住226名+西東京市128名+三鷹市72名+小金井市50名+杉並区48名=524名
- 2 携帯・メール以外の招集伝達手段の検討

いったいどの情報が正しいの？

- 1 聞き取りにくかった防災行政無線の見直し
- 2 ツイッター、メールおよびコミセン防災ファックスによる、「文書」での市民への情報伝達システムの確立

公共施設の天井や壁の落下は大丈夫なの？

- 1 学校を中心とした、すべての公共施設の天井や壁=「非構造部材」の点検
- 2 PCBを含む蛍光灯の落下防止の点検と対策

学校や保育園、学童・あそべえでは、親が引き取るまで施設で待機のルールでしたよね？

- 1 親が引き取るまでの保護徹底
- 2 保護者への確実な連絡手段の検討

3・11の教訓

学校に避難しなかったのに・・・。

- 1 教員が不在でも、一時避難所が開設できる条件の見直し
- 2 障害児・者のための「福祉避難所」へつなぐ「福祉避難室」の設置
- 3 日頃からの学校教室を開放しての防災訓練の実施

双方向(市内へ・市外へ)の帰宅困難者への安全確保はどうなっているの？

- 1 駅周辺の防災広場の検討
- 2 市内私立学校児童・生徒・学生の安全確保
- 3 中継所としてのコミセンの開設

民間事業者との災害協定はどうなっているの？

- 1 「広域避難所」となっている大学への確認
- 2 日頃からの事業者との行事を通じての交流
- 3 人・物・場所等の具体的な協働

停電になったら、どうなるの？

- 1 地域防災計画に記したように、速やかに「停電対応マニュアル」を策定すること

武蔵野市総世帯数の70%が集合住宅に居住という現実

提案その1 「緊急医療情報キット」

今震災においても、適切な救命活動情報の有無が、救命率を左右しました。港区では、東京都消防庁との連携で、「かかりつけの病院」「既往症や服薬歴」「緊急連絡先」を明記したシートを「キット(容器)」に入れ、「冷蔵庫」に保管しています。武蔵野市の約8,000名を超えるおひとり暮らしの方々や、日中独居の方々のためにも、平成24年度導入にむけて、予算要望してまいります。



提案その2 日頃から「隣人まつり」

武蔵野市世帯数7万1226世帯のうち、70%が集合住宅居住世帯です。100世帯を超えるマンションでは、顔を合わせる人もきまってきてしまいます。「日頃のお付き合いが、非常時の助け合い」。例えば、マンション内の子育て世代が集まって、夏のお楽しみ会(ビニールプールやすいか割り)などは、親子で顔が見えるお付き合いが始まります。世代を超えた交流も、お互いに元気がもらえますよね。



防災訓練に参加しよう!

- ◎武蔵野市総合防災訓練
【日時】平成23年8月21日(日)午前9時から
【場所】市立第三中学校
- ◎武蔵野市+都+3市合同総合防災訓練
【日時】平成23年10月29日(土)午前9時
【場所】都立小金井公園
※同時開催:各地域避難所開設・初動態勢訓練(予定)

家具転倒防止器具

9月から全戸にカタログ配布予定です。
申し込み後抽選で配布予定です。
【防災課】0422-60-1821
【高齢者支援課】0422-60-1846

8月3日より市内70カ所で、空間放射線量測定が始まりました。

シンチレーション式サーベイメーター(日立アロカメディカル製TCS-172B)購入により、主に子どもが利用する施設を中心に測定を開始します。今後は、コミュニティセンター、私立幼稚園等の測定も求めてまいります。

会派結成! 「むさしの未来」

今、武蔵野には「新しい風」が必要です。かつては、異なる政治的立場であっても、それぞれの異なる経験や職業を活かし、党派を超えて「武蔵野の未来」を切り拓いていきます。市民の皆さんと共に、積極的に提案し、成果の出せる活動を目指します。

メンバー紹介

- 代表 小美濃 安弘@吉祥寺東町 文教委員会委員長
幹事長 深田 貴美子@吉祥寺本町 建設委員会副委員長
西園寺 みきこ@境南町 厚生委員会委員
前田 秀樹@吉祥寺南町 総務委員会委員

猛ダッシュ! 活動中!

- ◎5/30 世田谷区発達障害児支援センター「げんき」
- ◎6/5「ふじみ衛生組合」ゴミ処理センター視察
- ◎7/13 世田谷区「特区日本語」教育視察
- ◎7/14 三鷹市「株式会社まちづくり三鷹」
- ◎7/21「NPO 法人三鷹ネットワーク大学」会派合同視察
- ★会派議会報告会7/7@中央コミセン13名、7/12@東コミセン31名 ご来場ありがとうございました。